

日本の水文化調査報告（2014年度）

滞日アジア留学生がもつ 日本の水魅力イメージ

2015年2月

ミツカン水の文化センター

目 次

1. 調査概要	3
1.1.調査目的.....	3
1.2.調査概要.....	3
1.3.回答者の属性	3
2. 日本の水と出身国の水ーどのようなイメージを抱いているか	5
2.1.日本の水は安全か?	5
2.2.日本の水はおいしいか?	5
2.3.日本の水は豊かか?	5
2.4.日本の水はきれいか?	6
2.5.出身国の水は安全か?	6
2.6.出身国の水はおいしいか?	6
2.7.出身国の水は豊かか?	7
2.8.出身国の水はきれいか?	7
2.9.日本の水に対するイメージと出身国の水に対するイメージ	7
3. 日本の水道水と出身国の水道水ーそれぞれの満足度.....	9
3.1.日本の水道水に満足しているか?	9
3.2.自宅で飲む水	10
3.3.在日中の水道水に対する不満.....	10
4. 日本における水の魅力	12
4.1.水利用の優先順位.....	12
4.2.水に見る日本の生活と魅力	13
4.3.水に関連する日本の観光、生活	15
4.4.水に関する日本の文化.....	16
4.5.水と聞いてイメージする世界の都市.....	18
5. まとめ.....	20

1. 調査概要

1.1.調査目的

日本人にとって水は身近な存在である。そして、日本のもつ水の清冽なイメージや水道インフラは世界レベルでも優位性があるものだと日本人は思っているかもしれない。では実際に海外の人々は日本の水文化をどのように認識しているのだろうか。当然、日本人とは異なった水に関するイメージをもっているに違いない。

水イメージについて海外と日本の相違を知れば、私たちがなかなか気がつかない日本の水文化の魅力をあぶり出せるかもしれない。これが本調査の出発点である。

そこで、株式会社 JTB コーポレートセールスの協力を得て、今回は滞日アジア留学生在が日本の水についてどのような魅力を感じているのか、ネット調査を行った。

調査内容は主には①日本と出身国の水に対するイメージ、②日本と出身国の水道水への満足度、③日本における水の魅力、の3点である。

以上を中心に報告を行う。

1.2.調査概要

(1)調査対象者及び調査対象数

滞日中の東アジア・東南アジアからの留学生（以下滞日アジア留学生と称す）200名。

(2)調査方法：インターネット調査

(3)調査期間：2014年9月26日（金）～10月24日（金）

※割合については小数点第2位以下を四捨五入して表記しているため、合計が100にならないことがある。

1.3.回答者の属性

回答者の年齢、性別は次の通りである。

表 1.年齢別、性別調査対象者数

年代	女性	男性	総計	構成比
20歳未満	2	3	5	2.5%
20-29歳	86	81	167	83.5%
30歳以上	13	15	28	14.0%
総計	101	99	200	

留学生なので20歳代が中心となっている。

回答者の出身国と滞在期間は以下の通りである。

表 2.出身国別、滞在期間別調査対象者数

国	滞在期間			総計	構成比
	3年未満	3年以上5年未満	5年以上		
インドネシア	3	5	7	15	7.5%
タイ	12	3	5	20	10.0%
ネパール	4	3	10	17	8.5%
ベトナム	12	13	5	30	15.0%
マレーシア	9	11	10	30	15.0%
韓国	6	14	8	28	14.0%
台湾	19	6	5	30	15.0%
中国	12	12	6	30	15.0%
総計	77	67	56	200	
構成比	38.5%	33.5%	28.0%		

回答者は東アジア・東南アジア 8 カ国の留学生である。3年以上の滞在期間が 61%を占めている。

本調査はこれら出身国者から成る「滞日アジア留学生」の調査である。

回答者が居住している住居は以下の通りである。

表 3.住居形態別回答者数

住居形態	女性	男性	総計	構成比
戸建(一軒家)	3	1	4	2.0%
集合住宅(マンションやアパート、寮など)	98	98	196	98.0%
総計	101	99	200	

回答者の 98%は集合住宅に住んでいる。このことは、後出の水道水に対する評価に影響を及ぼしていることを念頭に置く必要がある。

2. 日本の水と出身国の水—どのようなイメージを抱いているか

2.1.日本の水は安全か？

「日本の水に対するイメージは？安全だと思いますか？（安全というのは健康や環境に悪い影響を与えることがなく安心して使えるという意味です。）」という質問を行った。

表 4.日本の水の安全に対するイメージ

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
1.とても安全だと思う	6	7	9	9	9		4	9	53	26.5%
2.安全だと思う	8	11	7	21	18	13	20	20	118	59.0%
3.わからない		1	1		1	5	2		10	5.0%
4.安全とは思わない	1	1			2	7	4	1	16	8.0%
5.まったく安全とは思わない						3			3	1.5%
総計	15	20	17	30	30	28	30	30	200	

全体を見ると「とても安全だと思う」「安全だと思う」の合計が 85.5%で、滞日アジア留学生の安全についてのイメージは高いと言える。

2.2.日本の水はおいしいか？

「日本の水に対するイメージは？おいしいと思いますか？」という質問を行った。

表 5.日本の水のおいしさに対するイメージ

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
1.とてもおいしいと思う	4		6		5	1		2	18	9.0%
2.おいしいと思う	9	10	9	20	17	10	14	14	103	51.5%
3.わからない		5	1	6	5	6	9	10	42	21.0%
4.おいしいと思わない	2	5	1	4	3	10	6	4	35	17.5%
5.まったくおいしいと思わない						1	1		2	1.0%
総計	15	20	17	30	30	28	30	30	200	

「とてもおいしい」「おいしい」の合計が 60.5%、「まったくおいしいと思わない」「おいしいと思わない」の合計が 18.5%、そして「わからない」が 21.0%となった。

2.3.日本の水は豊かか？

「日本の水に対するイメージは？水は豊かだと思いますか？（豊かとは水道がいつでも使えて、川や池、湖がたくさんありいつも水がたくさん流れている、蓄えられているという意味です。）」という質問を行った。

表 6.日本の水の豊かさに対するイメージ

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
1.とても豊かだと思う	7	7	7	3	8	6	5	6	49	24.5%
2.豊かだと思う	6	8	8	18	16	14	20	16	106	53.0%
3.わからない	1	2	1	1	4	6	3	1	19	9.5%
4.豊かだと思わない		3	1	5	2	2	1	6	20	10.0%
5.まったく豊かだと思わない	1			3			1	1	6	3.0%
総計	15	20	17	30	30	28	30	30	200	

「とても豊かだと思う」「豊かだと思う」で77.5%となっており、イメージとして日本の水は豊かだと思われている。

2.4.日本の水はきれいか？

「日本の水に対するイメージは？水はきれいだと思いますか？」という質問を行った。

表 7.日本の水のきれいさに対するイメージ

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
1.とてもきれいだと思う	6	5	8	6	12	6	8	10	61	30.5%
2.きれいだと思う	9	14	9	22	17	15	21	19	126	63.0%
3.わからない		1		1	1	3	1		7	3.5%
4.きれいだと思わない				1		4		1	6	3.0%
5.まったくきれいだと思わない										0.0%
総計	15	20	17	30	30	28	30	30	200	

「とてもきれいだと思う」「きれいだと思う」が93.5%となっている。滞日アジア留学生のほとんどに、日本の水はきれいだとイメージされている。

2.5.出身国の水は安全か？

これまでは日本の水に対する質問だったが、回答者の出身国の水についても同様の質問を行っている。

「あなたの出身国の水に対するイメージは？安全だと思いますか？（安全というのは健康や環境に悪い影響を与えることなく安心して使えるという意味です。）」という質問を行った。

表 8.出身国の水の安全に対するイメージ

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
1.とても安全だと思う		1	1	2	2	1			7	3.5%
2.安全だと思う	2	4	6	5	9	13	13	2	54	27.0%
3.わからない		1		4	4	6	3	5	23	11.5%
4.安全とは思わない	9	7	7	16	13	8	12	20	92	46.0%
5.まったく安全とは思わない	4	7	3	3	2		2	3	24	12.0%
総計	15	20	17	30	30	28	30	30	200	

日本とは対称的に、「まったく安全とは思わない」「安全とは思わない」が58.0%となっている。一方「とても安全だと思う」「安全だと思う」が30.5%となっている。

2.6.出身国の水はおいしいか？

「あなたの出身国の水に対するイメージは？おいしいと思いますか？」という質問を行った。

表 9.出身国の水のおいしさに対するイメージ

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
1.とてもおいしいと思う	1		6	1	1				9	4.5%
2.おいしいと思う	2	2	9	7	2	7	3	1	33	16.5%
3.わからない	2	2	1	7	10	8	10	7	47	23.5%
4.おいしいと思わない	7	8	1	12	15	13	15	15	86	43.0%
5.まったくおいしいと思わない	3	8		3	2		2	7	25	12.5%
総計	15	20	17	30	30	28	30	30	200	

「とてもおいしいと思う」「おいしいと思う」が 21.0%で、「おいしいと思わない」「まったくおいしいとは思わない」が 55.5%となっている。

2.7.出身国の水は豊かか？

「あなたの出身国の水に対するイメージは？水は豊かだと思いますか？（豊かとは水道がいつでも使えて、川や池、湖がたくさんありいつも水がたくさん流れている、蓄えられているという意味です。）」と質問を行った。

表 10.出身国の水の豊かさに対するイメージ

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
1.とても豊かだと思う	2	2	3	2	4	3	1		17	8.5%
2.豊かだと思う	6	7	8	15	16	10	10	6	78	39.0%
3.わからない	3	2	1	3	2	3	1	5	20	10.0%
4.豊かだと思わない	3	9	2	7	7	10	15	17	70	35.0%
5.まったく豊かだと思わない	1		3	3	1	2	3	2	15	7.5%
総計	15	20	17	30	30	28	30	30	200	

「とても豊かだと思う」「豊かだと思う」が 47.5%、「まったく豊かだと思わない」「豊かだと思わない」が 42.5%となっている。

2.8.出身国の水はきれいか？

「出身国の水に対するイメージは？水はきれいだと思いますか？」という質問を行った。

表 11.出身国の水のきれいさに対するイメージ

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
1.とてもきれいだと思う			2			2			4	2.0%
2.きれいだと思う	1	9	6	8	10	12	10	5	61	30.5%
3.わからない	1	2		7	3	7	5	2	27	13.5%
4.きれいだと思わない	9	4	6	14	14	6	11	18	82	41.0%
5.まったくきれいだと思わない	4	5	3	1	3	1	4	5	26	13.0%
総計	15	20	17	30	30	28	30	30	200	

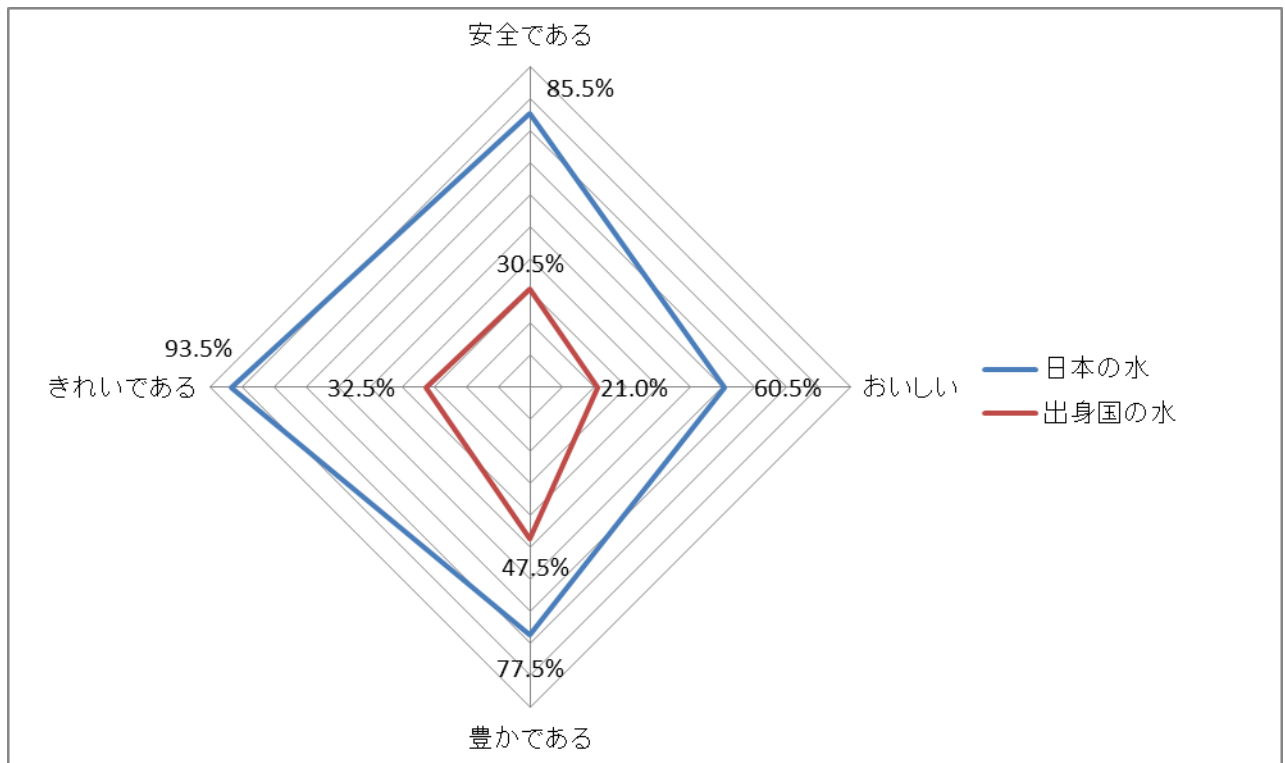
「とてもきれいだと思う」「きれいだと思う」が 32.5%、「まったくきれいだと思わない」「きれいだと思わない」が 54.0%となっており、日本の水のきれいさに対する評価と対称的である。

2.9.日本の水に対するイメージと出身国の水に対するイメージ

水に対するイメージを「安全」「おいしさ」「豊かさ」「きれいさ」に分けて、日本の水・出身国の水に対して質問した。

ここから明らかになったのは、図 1 の通り、出身国の水と比べ日本の水に対するイメージに対する高い評価である。

図 1.日本の水に対するイメージと出身国の水に対するイメージの差



日本の水イメージと出身国の水イメージの間の差が一番大きかったのは「きれいさ」で、その差は 61.0%、次いで「安全」で 55%であった。三番目は「おいしさ」で 39.5%であるが、これはほとんどが集合住宅の水道水に対する嗜好を考慮する必要があるだろう。四番目は「豊かさ」で、これは出身国の評価が高かったことによる。

総じて日本の水に対するイメージは高い評価であったが、出身国の水に対する評価は多くの質問でも高評価と低評価が割れた形になっている。故郷最良だけではなく、育ち慣れた水に対する嗜好や、集合住宅の水道水に対する違和感など、いろいろな要因が考えられる。

3. 日本の水道水と出身国の水道水－それぞれの満足度

3.1.日本の水道水に満足しているか？

「あなたは日本の水道水に満足していますか？（満足とは、安全性、利便性、経済性など、総合的な満足度のことです。）」という質問と共に「あなたは出身国の水道水に満足していますか？」という質問を行った。

表 12.日本の水道水の満足度

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
1.とても満足している	6	5	8	7	10		3	7	46	23.0%
2.満足している	9	14	7	20	20	17	20	19	126	63.0%
3.わからない				1		5	2	3	11	5.5%
4.満足していない		1	2	1		5	3	1	13	6.5%
5.全く満足していない				1		1	2		4	2.0%
総計	15	20	17	30	30	28	30	30	200	

「とても満足している」「満足している」が 86.0%となっている。

一方出身国の水道水への満足度は表 13 の通りとなっている。

表 13.出身国の水道水の満足度

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
1.とても満足している	1		1		3				5	2.5%
2.満足している	1	5	2	5	7	17	10	4	51	25.5%
3.わからない				4	2	6	5	5	22	11.0%
4.満足していない	10	12	6	20	14	5	13	16	96	48.0%
5.全く満足していない	3	3	8	1	4		2	5	26	13.0%
総計	15	20	17	30	30	28	30	30	200	

「全く満足していない」「満足していない」が 61.0%となっているが、「とても満足している」「満足している」も 28.0%となっており二つに割れている。

表 12、13 から明かなのは、86%の留学生が日本の水道に満足しており、61%の留学生は出身国の水道に満足していないという点である。

では両方の回答者をクロスするとどうなるか。

表 14.水道水の満足度－日本と出身国クロス

出身国の水道水	日本の水道水					総計
	1.とても満足している	2.満足している	3.わからない	4.満足していない	5.全く満足していない	
1.とても満足している	2	3				5
2.満足している	15	32	1		2	51
3.わからない	3	11	5		2	22
4.満足していない	16	67	5		7	96
5.全く満足していない	10	13			2	26
総計	46	126	11		13	200

「日本の水道水にととても満足、満足」し「出身国の水道水に全く満足していない、満足していない」という「日本の水道水だけ満足派」は 106 名で 53%を占めている。一方「日本の水道水にととても満足、満足」し、かつ「出身国の水道水にもとても満足、満足」という「両国の水道水満足派」は 52 名で 26%を占めていた。水道水の満足度は、どちらかの水道に分かれるというものではないようだ。

3.2.自宅で飲む水

「あなたは在日中、自宅で水を飲むとき、何の水を飲みますか？（複数回答可）」、また同じく、「あなたが出身国にいたとき、自宅で水を飲むとき、何の水を飲みますか？（複数回答可）」という質問を行った。

表 15.在日中に自宅で飲む水（複数回答）

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
水道水(浄水器を通す、沸かす等も含む)	11	16	15	23	27	14	28	24	158	79.0%
市販のボトルドウォーター	12	13	6	13	17	21	11	21	114	57.0%
スーパーにある持ち帰り用の水	4	6	1	10	8	2	2	6	39	19.5%
ウォーターサーバーの水	3	1		3	5		2	1	15	7.5%
井戸水									0	0.0%
その他						1	1		2	1.0%
水以外のものを飲む	2	1		3	8	1	8	4	27	13.5%

「水道水」が79.0%と第一位であるが、「市販のボトルドウォーター」が57.0%、続いて「スーパーにある持ち帰り用の水」が19.5%と、よく利用されていることがわかる。

表 16.出身国にいた時、自宅で飲む水（複数回答）

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
水道水(浄水器を通す、沸かす等も含む)	2	11	9	21	29	20	26	18	136	68.0%
市販のボトルドウォーター(ペットボトル)	11	14	4	10	12	13	11	17	92	46.0%
スーパーにある持ち帰り用の水		3	1	2	5	2	4	4	21	10.5%
ウォーターサーバーの水	5	3	3	4	5	7	4	4	35	17.5%
井戸水	3	1	5	5				1	15	7.5%
その他	4	3	1		2	1	1	1	13	6.5%
水以外のものを飲む	1	1		1	10		10	4	27	13.5%

「水道水」が68.0%と第一位であるが、在日中の79.0%とは11%の差がある。第二位は「市販のボトルドウォーター」が46.0%と同様に続くが、第三位は「ウォーターサーバーの水」で17.5%となっている。また「井戸水」も7.5%となっている。

3.3.在日中の水道水に対する不満

「あなたは在日中、水を飲んだり使ったりする時に不満を感じたことはありますか？」という質問を行った。

表 17.在日中の水道水に対する不満の有無

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
不満を感じたことはない	13	16	14	27	29	21	25	28	173	86.5%
不満を感じたことがある	2	4	3	3	1	7	5	2	27	13.5%
総計	15	20	17	30	30	28	30	30	200	

86.5%の回答者は「不満を感じたことはない」と答えている。

一方13.5%の「不満を感じたことがある」という回答者には、その理由を自由記述していただいた。以下がその内容である。

- ・あまり綺麗ではない。

- ・ある時期変な味がする。
- ・ケミカルがあるから髪の毛が落ちる。
- ・たまに臭いがする。
- ・嫌な味と思っている。
- ・古いマンションに住んでいるが、全くきれいではない。
- ・消毒の味が入っています。
- ・食堂の水のにおい。
- ・水を飲んだ時に、塩素が含まれているので、ちょっと塩素の匂いがしていました。
- ・水筒を持っていても補充する場所がなく、結局自販機でペットボトルを買うことになる。
- ・水道水をそのまま飲んだ時、髪の毛が抜ける
- ・水道水を飲もうとしたら匂いがしたこと。
- ・水道費が高すぎます
- ・生水は安全だが、匂いは好きではない。
- ・静岡の水道の水はすごく美味しいですが、東京の水道の水はちょっと変な感じだと思い、飲んでみるとやはり水の味が違います。
- ・大震災のとき、水を買うことができなかった。
- ・匂いがする
- ・日本のレストランの水を飲むと水道水の匂いがしますので、あれ以来レストランの水が飲まないようにします。
- ・福島の子供のことを心配していた
- ・変な匂いがした
- ・変な味を感じました。
- ・放射線
- ・薬品の匂いがしたこと

不満足と答えた回答者の多くが、匂いに対して違和感を感じていることがわかる。

4. 日本における水の魅力

4.1. 水利用の優先順位

滞日アジア留学生は、普段の生活の場面で、どこに使う水を重要視しているのだろうか。1番から6番まで優先順位をつけてもらった。質問は「あなたの生活で、最も水の重要性を感じる場面はどれですか？」というもので、選択肢は「食事をつくる時、トイレで水を流す時、風呂やシャワーで身体を洗う時、洗濯をする時、掃除で水を使う時、祭りや祈りで水を使う時」の6つ。選択肢を変えないまま、質問を「次に水の重要性を感じる場面」「3番目に水の重要性を感じる場面」と繰り返し、「5番目」「最も水の重要性を感じない場面」まで続けて回答していただいた。

その回答結果が以下の通りである。

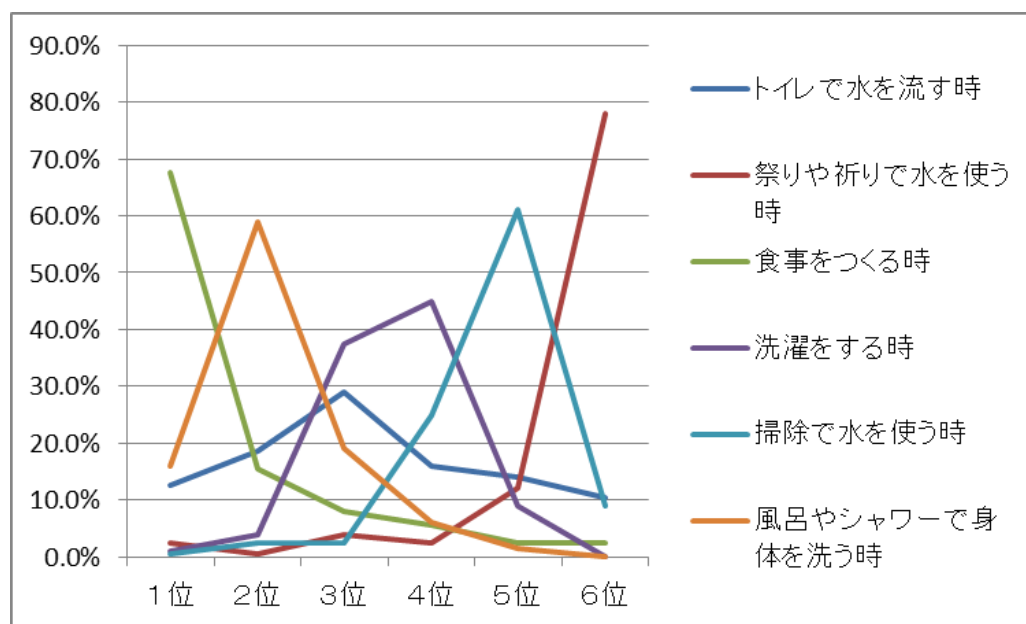
表 18. 生活で感じる水を使う場面の重要性の優先順位

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
トイレで水を流す時	12.5%	18.5%	29.0%	16.0%	14.0%	10.5%
祭りや祈りで水を使う時	2.5%	0.5%	4.0%	2.5%	12.0%	78.0%
食事をつくる時	67.5%	15.5%	8.0%	5.5%	2.5%	2.5%
洗濯をする時	1.0%	4.0%	37.5%	45.0%	9.0%	0.0%
掃除で水を使う時	0.5%	2.5%	2.5%	25.0%	61.0%	9.0%
風呂やシャワーで身体を洗う時	16.0%	59.0%	19.0%	6.0%	1.5%	0.0%

1位（最も重要と感じる）と回答されたのが「食事をつくる時」で67.5%、2位は「風呂やシャワーで身体を洗う時」59.0%、3位と4位は「洗濯をする時」で37.5%と45.0%、5位は「掃除で水を使う時」61.0%、6位（最も水の重要性を感じない場面）は「祭りや祈りで水を使う時」78.0%と続く。

上表をわかりやすく表したのが図2である。

図 2. 生活で感じる水を使う場面の重要性の優先順位



この図で分かるのは、水利用が5つの山から形成されていることだ。「食事をつくる時」と「風呂やシャワーで身体を洗う時」で1位、2位の山を形成し、「洗濯をする時」が3-4位の山を形成し、「掃除で水を使う時」「祭りや祈りで水を使う時」が5位、6位の山を形成している。

そして、どの山にも隠れた形で「トイレで水を流す時」が3-4位で「洗濯をする時」の次に選ばれている。「トイレで水を流す時」、水はあまり重要と感じられていないのだ。災害時に水洗トイレで困ったという報道が流されている日本ではこのような順位にならないのではないかと思われる、特徴的である。

4.2.水に見る日本の生活と魅力

「日本で『水のありがたさ』を感じるのはどんな時ですか？（複数回答可）」という質問を行った。

表 19.日本で水のありがたさを感じる時（複数回答）

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
海、川、湖、滝など自然の水に接するとき	10	12	8	19	20	10	18	17	114	57.0%
海水浴、ボート遊び、釣りなど水に関わる行楽やレジャーを楽しむとき		1	1	6	11	5	6	11	41	20.5%
久しぶりに雨が降ったとき	3	1	2	5	10	3	10	3	37	18.5%
洗濯や食器洗いなどの日常生活で水を使うとき	9	9	4	13	19	17	18	12	101	50.5%
入浴中やシャワーを浴びているとき	9	7	3	11	14	19	13	16	92	46.0%
あまり水事情のよくない外国に行ったとき	8	13	6	14	16	10	11	10	88	44.0%
まずい水道水を飲んだとき	3	4	5	5	11	4	7	10	49	24.5%
その他	2		2		3	1		1	9	4.5%
ありがたさを感じることはない		1							1	0.5%

1位は「海、川、湖など自然の水に接するとき」57.0%、2位は「洗濯や食器洗いなどの日常生活で水を使うとき」50.5%と続いている。

「その他」回答者には、内容を記していただいた。以下の通りである。

- ・水道水も安心して飲めること。
- ・24時間水使えること。
- ・温泉に入る時。
- ・干魃や水不足の問題に抱える人々のニュースを見るとき。
- ・喉が渇く時。
- ・山に登った時、人が住んでいないところでも、飲用水が見つかった。
- ・水、あまりもらえないところにいるとき。
- ・水は日常生活に欠かせないものですから。
- ・水は命の柱だし、自分の身体こそ7割水分で構造されている真実は常に実感していることはいつもどこでも「水の有難さ」を感じさせている。要するに、全ては水に生かされているからである。
- ・水事情のよくない外国の状況をテレビでみたとき。
- ・水道でおいしい水を飲んだ時。
- ・水道水がそのまま飲めるとき
- ・日本にだけいると、水を使うことに困らないから、普段は感じるができない。
- ・北海道の美味しい水道水を飲んだとき。

(順不同)

ではこのような回答者は、出身国ではどのような時に「水のありがたさ」を感じたのだろうか。「あなたが出身国にいたとき『水のありがたさ』を感じるのはどんな時ですか？（複数回答可）」という質問を行った。

表 20.出身国で水のありがたさを感じる時（複数回答）

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
海、川、湖、滝など自然の水に接するとき	7	8	8	17	18	10	10	14	92	46.0%
海水浴、ボート遊び、釣りなど水に関わる行楽やレジャーを楽しむとき	1	2	3	9	10	6	6	4	41	20.5%
久しぶりに雨が降ったとき	10	9	5	14	18	6	19	11	92	46.0%
洗濯や食器洗いなどの日常生活で水を使うとき	7	9	2	10	15	16	14	13	86	43.0%
入浴中やシャワーを浴びているとき	7	5	3	11	15	20	9	15	85	42.5%
あまり水事情のよくない外国に行ったとき		9	2	5	11	11	11	6	55	27.5%
まずい水道水を飲んだとき	3	5	3	4	11	3	2	5	36	18.0%
その他	3		1	3	3	3	1	1	15	7.5%
ありがたさを感じることはない	1	2	2				1	2	8	4.0%

第一位は「海、川、湖、滝など自然の水に接するとき」46.0%で、全体の順位は日本での場合とあまり変わらないのだが、大きく変わっているのが「久しぶりに雨が降ったとき」である。日本では18.5%に過ぎなかったが、出身国では46.0%となっている。この順位変動を記したのが表21である。

表 21.水のありがたさを感じる時—日本と出身国の比較

項目	日本で	出身国で
1 海、川、湖、滝など自然の水に接するとき	114	92
2 洗濯や食器洗いなどの日常生活で水を使うとき	101	92
3 入浴中やシャワーを浴びているとき	92	86
4 あまり水事情のよくない外国に行ったとき	88	85
5 まずい水道水を飲んだとき	49	55
6 海水浴、ボート遊び、釣りなど水に関わる行楽やレジャーを楽しむとき	41	41
7 久しぶりに雨が降ったとき	37	36
8 その他	9	15
9 ありがたさを感じることはない	1	8

日本では「雨のありがたさ」を感じないで済むということであり、日本での水の充足感は魅力的に映っているのではないだろうか。

「その他」回答者には、同じく内容を記していただいた。以下の通りである。

- ・汚い川で洗濯をしたり水浴びしたりする人達を見た時。
- ・干魃や水不足の問題に抱える人々のニュースをみるとき。
- ・喉が渇く時。
- ・三連日の断水された時。
- ・食事をする時。
- ・水がなくなる時。
- ・水は日常生活に欠かせないものですから。
- ・水は命の柱だし、自分の身体こそ7割水分で構造されている真実は常に実感してることはいつもどこでも「水の有難さ」を感じさせている。要するに、全ては水に生かされているからである。
- ・水を飲む時。

- ・水事情のよくない外国の状況をテレビで見たとき。
- ・水道水が止まる時
- ・大学の授業で水を会社に奪われてしまい、命を奪われている国の人々の映像を見た時。
- ・貯水槽の定期検査のため、蛇口をひねることを禁じられる時。
- ・被災を受けたあと、あまり水事情の良くない外国のニュースを見るときなど。
- ・米、果物をいっぱい収穫したとき。

(順不同)

回答の背景に、水の不足感が横たわっていることがうかがわれる。

4.3.水に関連する日本の観光、生活

「あなたが知っている、水に関連する日本の観光、生活は次のどれですか？（複数回答可）」という質問を行った。

表 22.あなたが知っている水に関連する日本の観光、生活（複数回答）

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
水道水がそのまま飲めること	13	18	12	24	25	11	27	22	152	76.0%
刺身や寿司など生魚を食べられること	11	10	6	22	25	19	17	21	131	65.5%
美しい森の中を歩くことができること	8	8	3	13	14	8	10	8	72	36.0%
木の家に滞在できること	4	3	3	5	3	2	5	4	29	14.5%
温泉に入れること	11	13	7	22	28	24	25	28	158	79.0%
水田に入ったり見たりすることができること	1	1	3	5	4	2	4	3	23	11.5%
海や川でクルージングができること	6	4	3	8	7	5	14	9	56	28.0%
川の美しい景観を楽しむこと	11	10	5	20	16	8	22	19	111	55.5%
古い街の中に湧き水や水路の景観があること	6	6	5	12	9	5	15	11	69	34.5%
新鮮な魚、野菜、肉が手に入ること	12	8	3	18	18	12	16	15	102	51.0%
魚がおいしいこと	10	11	4	10	17	13	19	18	102	51.0%
数多くの場所で釣りができること	5	2	3	5	5	7	8	5	40	20.0%
その他	1				2		2		5	2.5%

1位は「温泉に入れること」79.0%、2位は「水道水がそのまま飲めること」76.0%、3位は「刺身や寿司など生魚を食べられること」65.5%と続いている。

その他回答者は次のように答えている。

- ・ Can find halal food easily
- ・何でも新鮮ですぐ飲めると食べられます。
- ・観光地での湧き水。
- ・滝の観賞と日本庭園（回遊式と茶庭など）を楽しむこと。
- ・日本酒を作ること。
- ・福島原発の汚染水漏れを心配しているから、水道水をそのまま飲まないで、刺身もあまり食べなくなりました。

福島原発の影響も見られるが、多くは日本の水文化の中で大切にされている新鮮感が認知されていることがわかる。

ではこれら知っていることの中で、回答者が他者に推薦するものは何なのだろうか。「その中であなたが推薦するものは次のどれですか？（複数回答可）」と質問を行った。

表 23.あなたが推薦する水に関連する日本の観光、生活（複数回答）

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
水道水がそのまま飲めること	10	8	11	19	19	1	15	19	102	51.0%
刺身や寿司など生魚を食べられること	8	5	6	12	16	9	12	15	83	41.5%
美しい森の中を歩くことができること	6	7	2	6	4	2	7	7	41	20.5%
木の家に滞在できること		1	2	3	2		2	4	14	7.0%
温泉に入れること	6	6	5	9	18	20	17	20	101	50.5%
水田に入ったり見たりすることができること		2		4	2	1	2	3	14	7.0%
海や川でクルージングができること	1	4		4	4	3	7	4	27	13.5%
川の美しい景観を楽しむこと	5	10	2	11	11	5	11	9	64	32.0%
古い街の中に湧き水や水路の景観があること	3	6	2	7	9	4	11	9	51	25.5%
新鮮な魚、野菜、肉が手に入ること	9	7	1	9	11	8	10	7	62	31.0%
魚がおいしいこと	5	7	4	3	9	7	11	11	57	28.5%
数多くの場所で釣りができること	1	2				1	1	2	7	3.5%
その他	1					2		1	4	2.0%

推薦することとなると、1位と2位が入れ替わり、1位が「水道水がそのまま飲めること」51.0%、「温泉に入れること」50.5%となっている。

その他回答者には内容を記していただいた。内容は以下の通りである。

- ・ Provide small room for prayer room for Moslem in the tourism area
 - ・ 滝の観賞と日本庭園（回遊式と茶庭など）を楽しむこと。
 - ・ 日本酒を作ること
 - ・ 美味しい水があるから美味しいお米がある
- （順不同）

この「認知すること」と「推薦すること」の順位の移動を表したのが表 24 である。

表 24. 水に関する日本の観光・生活－「知っている」と「推薦」の比較

項目	知っている	推薦する
1 温泉に入れること	158	102
2 水道水がそのまま飲めること	152	101
3 刺身や寿司など生魚を食べられること	131	83
4 川の美しい景観を楽しむこと	111	64
5 新鮮な魚、野菜、肉が手に入ること	102	62
6 魚がおいしいこと	102	57
7 美しい森の中を歩くことができること	72	51
8 古い街の中に湧き水や水路の景観があること	69	41
9 海や川でクルージングができること	56	27
10 数多くの場所で釣りができること	40	14
11 木の家に滞在できること	29	14
12 水田に入ったり見たりすることができること	23	7
13 その他	5	4

「温泉」「水道水」は魅力的であることがわかる。一方、回答者がアジア留学生であるためか、「木の家」「水田」はそれほどでもないことがわかる。

4.4.水に関する日本の文化

「あなたが知っている、水に関連する日本の文化は次のどれですか？（複数回答可）」という質

間を行った。

表 25.あなたが知っている日本の水文化（複数回答）

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比	
水路がたくさん走る東京や大阪の景観	5	5	5	6	6	6	11	5	49	24.5%	
そのまま飲める衛生的な水道インフラ	12	14	10	22	24	12	28	23	145	72.5%	
民家や水路が残る山の中の集落	4	3	2	8	6	4	10	5	42	21.0%	
生態系が守られた知床や屋久島のような場所	4	8	3	8	6	5	14	11	59	29.5%	
豊かな水を蓄える森林や山々	8	7	3	12	8	13	21	13	85	42.5%	
のどかな水田風景	4	3	2	4	9	5	5	5	37	18.5%	
日本各地で守られてきたその土地ならではの郷土料理	6	10	3	13	10	6	15	11	74	37.0%	
寿司、刺身など生魚を使った料理	11	10	5	18	25	20	19	19	127	63.5%	
日本酒や醤油、味噌などの醸造文化	7	7	5	16	16	8	23	13	95	47.5%	
その他						1	3		1	5	2.5%

1位は「そのまま飲める衛生的な水道インフラ」72.5%、2位は「寿司、刺身など生魚を使った料理」63.5%、3位は「日本酒や醤油、味噌などの醸造文化」47.5%と続いている。

その他回答者の内容は以下の通りである。

- ・そうめんを水に流して食べる食べ方。
- ・温泉
- ・水道水が飲める国は数少ないのすごく良いと思います。
- ・水力発電
- ・日本酒だけではなく、山梨県のワインも。
- ・日本庭園（回遊式と茶庭など）

（順不同）

続いて、知っているものだけではなく、後世に残したいものはどれか。「その中であなたが後世に残したいと思うものは次のどれですか？（複数回答可）」という質問を行った。

表 26.あなたが後世に残したいと思う日本の水文化（複数回答）

	インドネシア	タイ	ネパール	ベトナム	マレーシア	韓国	台湾	中国	総計	構成比
水路がたくさん走る東京や大阪の景観	3	9	3	11	11	1	9	9	56	28.0%
そのまま飲める衛生的な水道インフラ	13	12	14	21	24	7	24	21	136	68.0%
民家や水路が残る山の中の集落	4	5	1	7	8	3	13	11	52	26.0%
生態系が守られた知床や屋久島のような場所	6	7	1	8	10	10	19	11	72	36.0%
豊かな水を蓄える森林や山々	9	13	3	14	15	17	16	15	102	51.0%
のどかな水田風景	3	3	3	5	10	7	8	6	45	22.5%
日本各地で守られてきたその土地ならではの郷土料理	5	11	3	10	13	7	17	8	74	37.0%
寿司、刺身など生魚を使った料理	7	9	5	10	19	15	15	12	92	46.0%
日本酒や醤油、味噌などの醸造文化	4	5	2	9	12	7	20	9	68	34.0%
その他		1				2	2		5	2.5%

1位は変わらず「そのまま飲める衛生的な水道インフラ」で68.0%、2位は「豊かな水を蓄える森林や山々」51.0%、3位は「寿司、刺身など生魚を使った料理」46.0%と続いている。

その他回答者の内容は、以下の通りである。

- ・温泉
- ・楽な生活と美味しい食べ物ができますから。
- ・自然を残したい。
- ・日本庭園（回遊式と茶庭など）

「知っている」と「後世に残したい」の順位の変化を示したのが表 27 である。

表 27.水に関する日本の文化－「知っている」と「後世に残したい」の比較

項目	知っている	後世に残したい
1 そのまま飲める衛生的な水道インフラ	145	136
2 寿司、刺身など生魚を使った料理	127	102
3 日本酒や醤油、味噌などの醸造文化	95	92
4 豊かな水を蓄える森林や山々	85	74
5 日本各地で守られてきたその土地ならではの郷土料理	74	72
6 生態系が守られた知床や屋久島のような場所	59	68
7 水路がたくさん走る東京や大阪の景観	49	56
8 民家や水路が残る山の中の集落	42	52
9 のどかな水田風景	37	45
10 その他	5	5

「知っている水文化」と「残したい水文化」には差があることがわかる。「水道インフラ」は両方とも 1 位であるが、「寿司、刺身など生魚を使った料理」「日本酒や醤油、味噌などの醸造文化」は後世に残したいものとしては順位が下降してしまう。一方順位が上がるのは「豊かな水を蓄える森林や山々」「日本各地で守られてきたその土地ならではの郷土料理」「生態系が守られた知床や屋久島のような場所」である。

4.5.水と聞いてイメージする世界の都市

『水』と聞いてイメージする世界の都市の名前を教えてください」という質問を行った。結果は表 28 の通りである。国、都市名等を区別せずに、想起された場所の名前を挙げている。

表 28.「水」と聞いてイメージする世界の都市名、地名（票数 2 票以上）

地名	票数
ヴェネツィア	81
スイス	7
シンガポール	5
アムステルダム	4
アルプス	4
イタリア	4
ネパール	3
パリ	3
ハワイ	3
横浜	3
日本	3
アメリカ	2
ローマ	2
オランダ	2

シドニー	2
チューリッヒ	2
ノルウェー	2
ブラジル	2
モルディブ	2
京都	2
秋田	2
蘇州	2
中国	2
富士山	2
北海道	2

また、票数1票を得た都市名・地名は59ヶ所で、以下の通りである。

お茶の水、ボルカン・ド・ヴェルニュ自然公園(フランス)、バンコク、CAN THO city (in Vietnam)、クライストチャーチ、Parapat, Toba Lake (インドネシア)、Dong Nam Bo (Viet Nam)、オスロ、カルガリー、オタワ、アフリカ、アマゾン森林、神戸、釜山、シンガポール、イギリス、インドネシアボゴール、ウィーン、江南、エヴィアン レパン、オーストラリア、オンタリオ、ガーナ、ジュネーブ、チューリッヒ、スイスのジュネーヴ、ドイツ、ニューデリー、ポカラ (ネパール)、パナマ、パラオ、ロンドン、バンクーバー、ヒマラヤ、シドニー、ベネジェーラ、ポカラ(ネパール)、マレーシア、マレ島、メルボルン、モントリオール、江蘇省、雲南、高知県、山梨県、周荘、上海、新潟、水戸、水道橋、成都、青森、長野県軽井沢町、東京、千葉県野田、アフリカ、バングラデシュ、日本山梨、北海道のニセコ、武漢

「ヴェネツィア」が81の票数を得ており、まさに水都のグローバルブランドであることがわかる。

5. まとめ

本調査では、滞日アジア人留学生が、日本の水についてどのような魅力を感じているのか探ることが目的であった。今回の調査で判明したのは以下の点である。

(1)日本の水に対するイメージは「きれい」が一番

日本の水イメージはいくつかの価値から成立している。滞日アジア留学生に対して一番アピールしているのは「きれいさ」、次に「安全」、三番目に「豊かさ」で、四番目が「おいしさ」であった。

(2)日本の水道水は高い満足度を得ているし、魅力的でもある。

日本の水道水は滞日アジア留学生から高い満足度を得ている。出身国との対比で見てもそれは明かである。

一方、「日本の水道水と出身国の水道水の両方満足」という回答者も約 25%いる。水道水の評価軸が多様であることがうかがわれる。

とはいえ、日本の水の魅力としても「水道インフラ」が1位として挙げられている通り、その魅力の滞日アジア留学生に対する訴求力は非常に強い。

(3)水道水の匂いが気になる滞日アジア留学生も多い。

水道水の不満を訴える滞日アジア留学生の多くが、匂いをその理由として挙げている。塩素臭を理由に挙げている学生もいる。

(4)トイレで水を流す時に水のありがたみを感じる滞日アジア留学生は少ない。

滞日アジア留学生は、トイレでの水利用にあまりありがたさを感じていない。災害時に水洗トイレが使えなくなった様子などが広く報道されている日本では異なる結果がでるかもしれない。

(5)日本での水の充足感は魅力

水のありがたさを感じる時として、日本ではさほど感じない「雨のありがたさ」が、出身国では2位になった。「雨のありがたさ」を感じないで済む日本での水の充足感は魅力的と映っている。

(6)観光面でも「水道水が飲める」と「温泉」は魅力的な構成要素である。

日本ではさほど魅力的に映らない水道水が、滞日アジア留学生には魅力的に映っている。同様に温泉も重要な魅力要素である。一方「木の家」や「水田」はさほどでも無い。欧米留学生を対象にすると異なった回答が得られるだろうが、滞日アジア留学生ではこのような結果となった。

(7)後世に残したい水文化として水道と森林、寿司・刺身

「そのまま飲める衛生的な水道インフラ」が知られており、かつ後世に残したい水文化として意識されている。今や日本の水道はアジアに対するパワーブランドとなっているのかもしれない。

また、日本の水文化として知られている順位から、後世に残したい順位が上昇しているのが「豊かな水を蓄える森林や山々」「日本各地で守られてきたその土地ならではの郷土料理」「生態系が守られた知床や屋久島のような場所」の3点である。

さらに、後世に残したい文化上位3点は水道インフラ、森林、寿司・刺身など生魚を使った料

理」となっている。認知から一步踏み込んで、この3点は遺産価値がより高くあると思われることがわかる。

(8) ヴェネツィアは水都のグローバルブランド

「水」と聞いてイメージする世界の都市名として、多くの回答者がヴェネツィアを挙げた。

また、挙げられた水都を構成しているのは、水路景観や雪山、湖沼等、景観としての特徴である。

こうした結果を見ると、結局「きれい」「安心」「豊かな」「おいしい」水を供給する水道インフラは、日本の魅力を生む根底であることがわかる。それはハードとソフトの両面から成立している。このソフトは「見てわかる景観」だけでなく、「経験することでわかる」ことも多いことが本調査からわかる。

今回の滞日アジア留学生の抱いた日本の水文化経験を縁に、新たな水文化経験をつくりデザインすることも、魅力ある水文化をつくる上の課題と言えるだろう。本調査がそのための一助になれば幸いである。

日本の水文化調査報告 2014 年度
滞日アジア留学生がもつ日本の水魅力イメージ

2015 年 2 月発行

発行 ミツカン水の文化センター

企画・執筆 中庭光彦（多摩大学経営情報学部准教授、ミツカン水の文化センターアドバイザー）

調査協力 株式会社 JTB コーポレートセールス